

科目名 (Eng)		都市経済学 (Urban Economics)							
担当教員		米本 清							
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	ビジネスコミュニケーション学専攻	2	後期	選択	2	(30)	専門	A	○
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-2). (C-1). (F-4).								
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1). 2). 3). 4)								
JABEE基準1 (1) との対応：a, d(1), h									
授業の概要と方針		都市の形成過程でみられる規模の経済、集積の経済について取り上げる。輸送費最小化の観点から見た企業の立地点、アロンゾ型都市モデルにおける地代決定メカニズム、そして都市規模と都市システムについて講義する。							
到達目標		都市の形成過程からその構造を理解することにより現実の問題の分析能力を身につける。							
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習		
後期	16	はじめに	導入と授業の進め方				テキストの目次を確認する		
	17	都市はなぜ形成されるのか (1)	機会費用、比較優位				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	18	都市はなぜ形成されるのか (2)	規模の経済、集積の経済				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	19	都市はどこに形成されるのか	輸送費最小化				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	20	都市内の土地市場	地価と地代				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	21	都市内土地利用と地代の決定 (1)	アロンゾ型都市モデル				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	22	都市内土地利用と地代の決定 (2)	家計の行動				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	23	都市内土地利用と地代の決定 (3)	市場地代の決定				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	24	都市内土地利用と地代の決定 (4)	土地利用の効率性				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	25	都市内土地利用と地代の決定 (5)	企業の立地行動				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	26	サブセンターの形成	都市の拡大とサブセンター				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	27	土地利用の規制	ゾーニング				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	28	都市規模と都市システム	都市規模の理論				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
	29	都市における交通問題	交通混雑の理論				テキストで次回の内容を確認しておくこと		
30	都市における公共サービス	地方公共財				テキストで全体の内容を確認しておくこと			
試験について		100分の試験を実施する。							
評価方法		定期試験の成績を70%、課題を30%として総合的に評価する。							
教科書		『都市経済学の基礎』佐々木公明・文世一 (有斐閣アルマ)							
参考書									
関連科目									
履修上の注意		自学自習の確認方法―トピックごとに課題を出し、提出させる。							